

# 令和8年度 福岡市職員採用試験の変更点

## 主な変更点

- ① 上級行政技術（土木・建築・電気・機械・造園）  
受験可能年齢を20歳に引き下げ  
論文試験の廃止
- ② 初級行政技術（土木・建築・電気・機械）  
教養試験の廃止
- ③ 上級行政技術（衛生管理・文化財専門職）、保健師、獣医師、  
管理栄養士、消防吏員A  
論文試験の廃止
- ④ 保育士  
受験可能年齢を30歳未満に引き上げ

ホームページはこちら



詳しくは2ページをご覧ください。

受験申込みにあたっては、申込開始時に福岡市職員募集ホームページに掲載する「募集案内」をご確認ください。

# 令和8年度 福岡市職員採用試験の変更点

## ① 上級行政技術（土木・建築・電気・機械・造園）

(原則として、受験年度末時点の年齢)

◆受験可能年齢を20歳まで引き下げます。 現行：22歳以上30歳未満 ⇒ 変更後：20歳以上30歳未満

在学中の学校（大学、大学院等）を正規の修学年数で卒業・修了するまでの間、採用を猶予（最大2カ年）しますので、その間、学業に専念できます。

大学生・大学院生にとっては…

早く大学2年生から受験できるようになります。

例えば、令和8年度に実施する試験に大学2年生で合格した場合、原則として、令和11年4月からの入庁となります。大学院生についても同様で、例えば修士1年で合格した場合、原則として、令和10年4月の入庁となります。

高専生・短大生にとっては…

従来は、現役生が受験できるのは基本的には「初級職」しかなく、「上級職」を受験する場合は、卒業後、22歳になる年度まで待つ必要がありました。この変更により、20歳になる年度（例えば、高専5年生や短期大学2年生）から、「上級職」の試験を受験できるようになります。

### ◆論文試験を廃止します。

	先行枠(4月に第1次試験実施)	一般枠(6月に第1次試験実施)	
	現行（変更なし）	現行	変更後
第1次試験	教養試験（SPI） 専門試験	教養試験 専門試験	教養試験 専門試験
第2次試験	面接	面接 論文	面接

※先行枠と上級一般枠は、同一年度内での併願はできません。

## ② 初級行政技術（土木・建築・電気・機械）

### ◆教養試験を廃止します。

	現行	変更後
第1次試験	教養試験 専門試験	専門試験
第2次試験	面接	面接

## ③ 上級行政技術（衛生管理・文化財専門職）、保健師、獣医師、管理栄養士、消防吏員A

### ◆論文試験を廃止します。

	現行	変更後
衛生管理 文化財専門職 保健師 獣医師 管理栄養士		
第1次試験	教養試験 専門試験	教養試験 専門試験

※文化財専門職のみ、第2次試験で実技試験もあります。

	現行	変更後
第1次試験	教養試験	教養試験
第2次試験	面接 論文 体力試験 身体検査	面接 体力試験 身体検査

※消防吏員Aの教養試験は、「SPI方式」または「一般方式（5肢択一）」のいずれかを選択することができます。方式ごとに採用人数が異なります。

## ④ 保育士

### ◆受験可能年齢を30歳未満まで引き上げます。 現行：26歳未満 ⇒ 変更後：30歳未満

(原則として、受験年度末時点の年齢)